

再生可能エネルギー開発の実際

平成27年 **12月8日** 火
13:00~17:00

「いばらき自然エネルギーコーディネータ養成プログラム」は、地に根を張った視点から再生可能エネルギー利用を考え、普及や具体化に貢献する人材養成をめざしています。なぜなら、再生可能エネルギーは、「ご当地エネルギー」と言えるほどに、地域性が強く、開発や利用には地域目線が重要になるからです。そのような「ご当地エネルギー」への関心が、高まってきました。地域目線で「ご当地エネルギー」を開発する取り組みも、各地で散見されるようになりました。今回は、そのような先駆例として茨城県波崎の市民による風力開発と福島県土湯温泉の水力・温泉熱開発の事例を取り上げます。波崎の風力開発は、地域主導のさきがけとして、また土湯温泉は東日本大震災と風評被害からの復旧復興のための再生可能エネルギー活用成功例として知られています。

再生可能エネルギーの利用だけでなく、これからのエネルギーや地域づくりに関心・ご興味、さらにご意見のある方は、ぜひご参加ください。地域を知る住民の手による「ご当地エネルギー」開発の好事例を知ることで、これからの地域主導の再生可能エネルギー利用を一緒に考えてみませんか？

プログラム

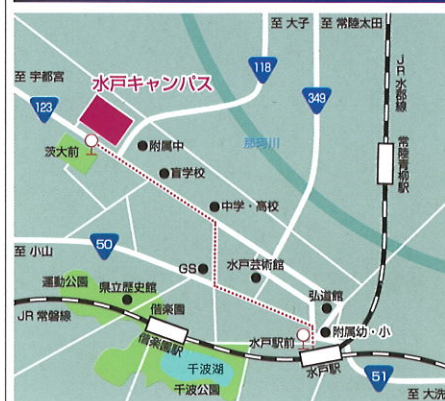
- 13:00 ~ 開会
13:15 ~ 講演①
14:15 『市民風車「なみまる」誕生』
遠藤道章氏（一般社団法人波崎未来エネルギー 理事）
- 14:15 ~ 講演②
15:15 『震災と原発事故からの土湯温泉町復興再生と再生可能エネルギーへの取り組み』
加藤勝一氏（株式会社元気アップつちゆ 代表取締役社長）
- 15:30 ~ 質疑討論
16:00
16:00 ~ 閉会／終了式 ※養成プログラム受講生のみ対象

主催：茨城県、いばらき自然エネルギーネットワーク、茨城大学社会連携センター
後援：一般社団法人 茨城県環境管理協会
お問い合わせ先：いばらき自然エネルギーネットワーク事務局（茨城大学農学部地域資源計画学研究室内）
茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 TEL：029-888-8590 FAX：029-888-8525（学内共通）
＜本シンポジウムは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。＞

参加費無料

〈定員100名程度〉

会場 茨城大学水戸キャンパス
図書館3階 ライブラリーホール



水戸市文京2-1-1
※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

キャンパス内案内図

